

山口重次 （山口重次） 評論家。明治二十五年八月、千六百千葉縣生れ、昭和十四年十一月九日歿（二六二一九歳）。朝鮮で巡査の傍ら京城法政研究会（夜學）卒。朝鮮總督府勤務を経て、大正八年滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）入社。昭和二年小澤開作等と滿洲青年聯盟組織、七年協和會創立の關與、十年奉天副市長。

著書『悲劇の將軍と白原莞爾』（昭和二十七年二月十五日世界社）、『采石の、世界最終戦争と白原莞爾將軍の名言』（昭和二十四年八月一日國民タイムズ新社出版局）等。